



# 議会だより

## ひだか川

# No. 57

令和2年8月1日発行

発行 / 日高川町議会

住所 和歌山県日高郡日高川町土生160番地

TEL. 0738-22-9504

FAX. 0738-22-2093

E-mail : gikai@town.hidakagawa.lg.jp



### 第1回臨時議会

### 第2回定例議会

- 新しい議会構成…………… 2
- こんな質疑を行いました…………… 3
- 一般質問（5名登壇）…………… 7
- 請願・陳情等の審査…………… 12

### 役場周辺

（ドローンによる撮影）



新しい議会構成です。

ひきつづき、よろしく  
お願いいたします。

議長に山本 啓司  
副議長に入口 誠  
を選出



ひだか川  
議長 山本 啓司

5月13日に臨時議  
会が開催され、議長  
の重責を担わせて頂  
くことになり、身の  
引き締まる思いであ  
ります。  
徐々にはありま  
すが、規制が緩和さ  
れて来ているとはい  
え、まだまだ新型コ  
ロナウイルスの脅威  
は住民の皆様の暮ら  
しに大きな影響を与  
えています。  
更なる住民福祉の  
向上に向けて、円滑  
な議会運営により、  
議会と執行部が一丸  
となって取り組んで  
行けるよう、粉砕  
身努力して参ります。  
皆様お一人お一人  
のご指導、ご鞭撻を  
賜りますよう、よろ  
しくお願ひ申し上げ  
ます。

( 議会事務局 局長 山本 和美 )  
局次 長 中 宏史

議席番号	氏名	議員歴	議会運営	常任委員会		特別委員会 広報	一部事務組合議会	他の役職
				総務文教	産建厚生			
1	くまがい しげみ 熊谷 重美	6期目			<input type="checkbox"/>		日高広域消防事務組合議会	
2	はら たかふみ 原 孝文	10期目	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		御坊市日高川町中学校組合議会	町営住宅等入居者選考委員会委員(中津) 町子ども・子育て会議委員 町宿泊施設運営協議会委員
3	やまもと よしひら 山本 喜平	8期目		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	御坊日高老人福祉施設 事務組合議会	町地域包括支援センター運営協議会委員 及び地域密着型サービス運営委員会委員 町営住宅等入居者選考委員会委員(美山) 町人権推進委員会委員
4	よしもと けんじ 吉本 賢次	7期目		<input type="checkbox"/>			御坊市外五ヶ町病院経営事務 組合議会	町営住宅等入居者選考委員会委員(美山) 町民生委員推薦会委員
5	いりぐち まこと 入口 誠	4期目	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		町国保運営協議会委員
6	やまもと けいじ 山本 啓司	3期目		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		町営住宅等入居者選考委員会委員(川辺) 町宿泊施設運営協議会委員
7	たつた やすひろ 龍田 安廣	5期目	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		議会選出 監査委員 町営住宅等入居者選考委員会委員(中津)
8	い な さだつぐ 伊奈 禎胤	2期目		<input type="checkbox"/>			御坊市日高川町中学校組合議会	
9	ほり たつお 堀 辰雄	5期目		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	和歌山県後期高齢者医療広域 連合議会	
10	こばた さだお 小畑 貞夫	3期目	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			御坊広域行政事務組合議会	
11	ほりえ さいじ 堀江 才二	3期目	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	御坊市日高川町中学校組合議会	ふるさと振興公社 評議員 町営住宅等入居者選考委員会委員(川辺) 町社会福祉協議会 理事
12	いとう みちひと 井藤 満人	3期目			<input type="checkbox"/>		御坊市日高川町中学校組合議会	町農業振興協議会委員 町国保運営協議会委員 町社会福祉協議会 評議員

◎委員長 ○副委員長 □委員 ※議員歴は、在任特例期間を含まない

# 全て原案のとおり可決！！

5月13日に第1回臨時議会が開かれ、正副議長選挙や議会構成の決定、一部事務組合議員の選挙が行われたほか、専決処分10件、すべて原案のとおり承認しました。

6月12日から6月18日まで第2回定例議会が開かれ、教育委員会委員の任命1件、固定資産評価審査委員会委員の選任3件、農業委員会委員の任命14件、財産区管理会管理委員の選任3件、動産の取得1件、条例の廃止・一部改正7件、専決処分1件、補正予算2件、教育長の任命1件が提出され、すべて原案のとおり同意・承認・可決しました。

一般質問は5議員が行い、町執行部の取り組み等を問いました。

## こんな質疑を行いました



### 第1回臨時議会

●令和元年度一般会計補正予算（第5号・専決処分）

決算見込みに基づき予算の調整を行ったので、歳入歳出予算からそれぞれ927万円を減額し、予算総額をそれぞれ95億4752万2千円とするものです。（賛成全員）

問 学校休業による給食食材の納入業者への補償はしているのか。

答 3月2日からの休校には用意していた食材を学校で処理した。牛乳については、国から補填される部分を計上している。

他の食材の業者には、事情を説明し、理解を得ている。

問 消費税増税対策のプレミアム付商品券を大幅に減額しているが、なぜか。

答 非課税の対象者2572名のうち、申請したのが39・39パーセントだった。手続きが面倒だったのも低い申請率になった要因だろう。

子育ても合わせた商品券の状況は、申請して引換券を交付したのが、1235名、そのうち商品券を購入したのが926名、購入率は74・98パーセントだった。

問 ●令和元年度笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計補正予算（第1号・専決処分）

決算見込みに基づき予算の調整を行ったので、歳入歳出予算からそれぞれ35万円を減額し、予算総額をそれぞれ173万8千円とするものです。（賛成全員）

問 ●令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号・専決処分）

決算見込みに基づき予算の調整を行ったので、歳入歳出予算からそれぞれ1203万5千円を減額し、予算総額2億6420万4千円とするものです。（賛成全員）

問 ●令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号・専決処分）

決算見込みに基づき予算の調整を行ったので、歳入歳出予算からそれぞれ450万円を減額し、予算総額14億5036万円とするものです。（賛成全員）

問 ●令和2年度一般会計補正予算（第1号・専決処分）

歳入歳出予算にそれぞれ450万円を追加し、予算総額をそれぞれ86億7950万円とするものです。内容は、プレミアム商品券の発行部数を増やし、プレミア率の引き上げを行うものです。（賛成全員）

問 ●国民健康保険条例の一部改正（専決処分）

新型コロナウイルス感染症に感染したことが疑われる症状が現れたことにより療養し、給与の支払いを受けている者に対して、一定期間に限り傷病手当金を支給することができ

ることとするものです  
(賛成全員)

●後期高齢者医療に関する条例の一部改正  
(専決処分)

和歌山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正に伴い、傷病手当金の支給に係る申請書の受付事務を追加するものです。  
(賛成全員)

●令和2年度一般会計補正予算(第2号・専決処分)

歳入歳出予算にそれぞれ10億1733万3千円を追加し、予算総額をそれぞれ96億9683万3千円とするものです。

主な内容は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、特別定額給付金、持続化支援金等を計上したものです。  
(賛成全員)

問 新型コロナウイルス感染症に伴う支援策について、住民に対応する町の総合窓口を設置するべきでは。

答 保健福祉課が総合窓口になっている。

問 一人10万円の特定期間給付金の申請手続きが困難な人へのサポートは考えているのか。

答 民生委員、在宅支援センターのスタッフなど、サポート体制をとる。

問 事業者に対する持続化給付金の手続きは、ネット申請だが、サポートは商工会が対応している。非会員の事業者でも対応してくれるのか。

答 御坊商工会議所がサポート拠点となっている。町から商工会へは、非会員にもサポートをするように依頼している。

町の持続化支援金の

申請手続きは、国の持続化給付金の給付決定通知の写しを申請書に添えて提出すれば交付する。

問 持続化給付金の対象事業は商工業に限定されているのか。他の業種は対象とならないのか。

答 国は詳細な通知を出していないが、制度の組み立てからみて全業種が対象となる。

●令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号・専決処分)

歳入歳出予算にそれぞれ250万円を追加し、予算総額をそれぞれ14億5831万1千円とするものです。

国民健康保険事業における傷病手当金を計上したものです。  
(賛成全員)

第2回定例議会

●教育委員会委員の任命同意

釈野恵修氏(初湯川)の任命に同意しました。(任期4年)  
(賛成全員)

●固定資産評価審査委員会委員の選任同意

次の方々の選任に同意しました。(任期3年)  
鳥居宏行氏(平川)  
土代敬洋氏(西原)  
久保幸則氏(川原河)  
(賛成全員)

●農業委員会委員の任命同意

次の方々の任命に同意しました。(任期3年)  
中家雄三氏(千津川)  
中村幸男氏(土生)  
大嶋徳男氏(小熊)  
津村健志氏(玄子)  
長井 優氏(江川)  
木下和昌氏(和佐)  
川越安信氏(松瀬)

龍田雅人氏(船津)  
大澤 恵氏(高津尾)  
中井育子氏(高津尾)  
小瀬 涉氏(小釜本)  
朝間一行氏(浅間)  
西原由武氏(初湯川)  
福島康充氏(寒川)  
(賛成全員)

●矢田財産区管理会管理委員の選任同意

次の方々の選任に同意しました。(任期4年)  
宮本重信氏(中津川)  
古川明良氏(千津川)  
東 稔氏(鐘巻)  
山崎茂樹氏(土生)  
近田恵治氏(小熊)  
清長皓二氏(入野)  
玉置 勲氏(若野)  
(賛成全員)

●川上財産区管理会管理委員の選任同意

次の方々の選任に同意しました。(任期4年)  
久保幸則氏(川原河)  
朝間敏行氏(浅間)  
今北善美氏(滝頭)  
鉢本永一氏(上初湯川)

井原 崇氏(愛川)  
児玉邦秋氏(皆瀬)  
藤本賢一氏(弥谷)  
(賛成全員)

●寒川財産区管理会管理委員の選任同意

次の方々の選任に同意しました。(任期4年)  
山口 武氏(寒川)  
谷村文章氏(寒川)  
下西千秋氏(寒川)  
堺 正博氏(寒川)  
西 美行氏(寒川)  
(賛成全員)

●動産の取得

中津地区で使用する塵芥収集車を購入するものです。  
購入金額は756万8千円です。  
(賛成全員)







テニスコート上屋整備工事

●川辺町魅せたいまち  
基金条例の廃止  
旧川辺町から引き継いでいた基金を全額取り崩し、テニスコート上屋整備工事の財源としたことから、条例を廃止するものです。  
(賛成全員)

●手数料徴収条例の一部改正  
デジタル手続法の施行に伴い、個人番号通知カードが廃止されたことにより、通知カードに係る再発行手数料の項目を削除するものです。  
(賛成9名)

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正により、所要の改正を行うものです。  
(賛成全員)

問 放課後児童の支援員、補助員とは。

答 和歌山県では、県と和歌山市が研修会を開催でき、そこで研修を受けた方が支援員、受けていない方は補助員である。

●条例等の一部改正  
地方税法等の一部一改正により、所要の改正を行うものです。  
主な内容は、住民税関係・固定資産税関係・たばこ税関係・新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における措置等です。  
(賛成全員)

●国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げと低所得者に係る軽減判定所得基準額の見直し等の所要の改正及び保険税の減免申請書の提出期限の特例に関する規定の整備を行うものです。  
(賛成9名)

問 課税限度額の引き上げによる影響は。

答 医療費分基礎課税額の限度額の変更による世帯の増減はなく22世帯、介護納付金課税限度額については3世帯減の18世帯となる。



●介護保険条例の一部改正

第一号被保険者に対する軽減措置を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した等による第一号被保険者に対する減免を行うものです。  
(賛成全員)

●消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、補償基礎額の改定等を行うものです。  
(賛成全員)

●令和2年度一般会計補正予算(第3号・専決処分)

歳入歳出予算にそれぞれ9665万7千円を追加し、予算総額をそれぞれ97億9349万円とするものです。  
新型コロナウイルス

感染症対応地方創生臨時交付金を主な財源として、感染症対策に係る住民支援や感染拡大防止策、収束後対策等の事業に充当したものです。  
(賛成全員)

問 新型コロナウイルス対策の予算について、今後はどうするのか。

答 第2、3波という状況になれば、よく考えて予算措置をする。

問 新生児特別定額給付金の申請は。

答 申請は、基本的に本人にしていたたく、水道料金、集落排水使用料の減免の内容は。

問 水道について

は、7月から9月までの基本料金を減免、下水道については、新型コロナウイルスの影響を受けた飲食業の人数割料金を3カ月間免除する。

問 持続化支援金の申請状況は。



避難所用段ボールパーテーション (間仕切り)

**【答】** 6月18日時点で個人43件、法人8件、金額で1160万円程度となる。

●令和2年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算にそれぞれ1億4535万7千円を追加し、予算総額をそれぞれ99億3884万7千円とするものです。

主な内容として、ひだか病院の臨時負担金

**【問】** 量水標設置の工事内容は。

**【答】** 上初湯川で崩土により河川カメラが流失した。新たな設置場所を選定し、移設した。水位の標示に足場等の費用が要するための計上である。

**【問】** 給食用牛乳補償費は新型コロナの関係か。

**【答】** 3月2日からの臨時休校により、3月分の給食がなくなった。全国学校給食会連合会の3月分の給食費返還事業が文科省で認められた。

**【問】** 町内13校分の牛乳9026本分の支払いを町が行う事業。4分の3は国庫補助となる。

**【答】** 林道工事で各路線の完了時期はどうか。  
**【答】** 林道小谷線改良は令和6年度、出合白馬線舗装は令和3年度、株井白馬線舗装は令和4年度、縦の木線は令和9年度の完了予定となっている。

**【問】** 特殊詐欺被害防止のための自動通話録音機20台の購入だが、希望者の取りまとめはどうか。  
**【答】** 広報紙で知らせる。高齢者世帯が対象

となるので、民生委員、保健師、区長、ケアマネージャーなどに制度を知ってもらい、対象者に希望を出してもらうようにしたい。

**【問】** 保育所への備品購入の内容は何か。

**【答】** 新型コロナ対策の一環で、次亜塩素酸水生成装置を4保育所へ配置する。厨房へ設置し、食器、原材料の除菌に使用する。

**【問】** ひだか病院の負担金について、国から経営危機の病院への手立てはないのか。

**【答】** ひだか病院は、国の二次補正で重点医療機関に位置づけられ、いくらかの補助金はある。PCR検査の機器、キット等の整備にも補助金がある。

減収分の補填があるかは未定だ。

**【問】** 保育所の新型コロナ対策で掃除、消毒作業で仕事が増えている。

る。人的な補充が必要なのは。

**【答】** 保育所から衛生管理に人員が必要だと要望が上がっていないが、事務が増えているので確認して対応する。

●令和2年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

予算額の変更はなく、

歳入の内訳のみを変更するものです。  
(賛成全員)

●教育長の任命同意  
和佐公生氏(和佐)の任命に同意しました。  
(任期3年)  
(賛成全員)



親子方式による給食配達

# 町政の今を 問いたただす!



5議員が10項目の質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
8～9	山本 喜平 議員	<ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティバス運行の見直し作業は</li><li>・町の単独事業にも代理受領制度導入を</li><li>・感染防止と安全・安心な学校再開を</li></ul>
9～10	原 孝文 議員	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2次地方創生臨時交付金の使途は</li><li>・町の人口ビジョンの見直しとイメージ宣伝の強化を</li><li>・防災センターの広域消防OB職員の仕事は</li></ul>
10	龍田 安廣 議員	<ul style="list-style-type: none"><li>・土砂災害について、今年度の工事状況と今後の見通しは</li></ul>
10～11	堀 辰雄 議員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゴンパチ栽培に町の支援を</li></ul>
11	小畑 貞夫 議員	<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症への避難所対策は</li><li>・弥谷・熊野川・平岩地区の歩道設置について</li></ul>

## 一般質問とその範囲

行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

具体的には、自治事務、法定受託事務であるとを問わず、役場が処理する一切であって、一般行政はもちろん、教育、選挙、農地行政等全般に及びます。



# 1 コミュニティバス運行の見直し作業は

より利用しやすい方策を考え、公共交通を維持していく



山本喜平議員

**問** 廃止となった路線バスの補完と通学と通院など、日常生活を維持する公共交通機関としてのコミュニティバスの役割は大きい。また、運転免許返納者が増加している状況で、身近な移動手段として見直す必要がある。

町として、運行見直しを表明しているが、その作業は進んでいるのか。  
**答** 具体的な見直し作業にはまだ着手できていない。デマンド方式の路線の見直しから着手したい。提案された事前登録制や地域が主体となった運営などは、専門家の意見も取り入れながら、改善方策を探していきたい。

しから着手したい。提案された事前登録制や地域が主体となった運営などは、専門家の意見も取り入れながら、改善方策を探していきたい。

本年2月、総務省近畿管区行政評価局による地域公共交通に関する実態調査の対象に選定され、ヒアリングを受検した。全国的な調査で、各自治体の取り組みについては、分析結果など後日公表される。その結果なども参考にできればと考えている。

より利用しやすい方策を考え、公共交通を維持していく必要がある。一人でも多くの住民に利用され、「乗っ

て残す」「必要だから地域で維持していく」という意識の醸成と利

用者目線で改善が図れればと考えている。



コミュニティバス

# 2 町の単独事業にも代理受領制度導入を

住民がよいと思える事業に導入したい

**問** 木造住宅耐震改修工事では、改修工事費用の一时的な負担を軽減するため、補助金を工事業者へ直接支払う「代理受領制度」が導入され

ている。町の単独補助事業についても、代理受領制度を取り入れるべきではないか。  
**答** 住宅耐震改修補助金をはじめ、身体障害者に対する日常生活

している。町の単独補助事業についても、代理受領制度を取り入れるべきではないか。

住宅耐震改修補助金をはじめ、身体障害者に対する日常生活

用具給付や補装具給付事業にも代理受領制度を取り入れている。住宅耐震改修に係る補助事業は国庫補助事業で、県が主導して県下的にすすめ、現在18市町村で導入している。

り活用しやすくなるものだ。町の単独補助事業で、自己負担がそれほど大きくない事業は別として、各事業について検討し、町としても負担にもならず、住民にとっていいかなと思える事業に導入を検討したい。

# 3 感染防止と安全・安心な学校再開を

学校への人的支援を検討する

**問** 新型コロナ対策を実施しながらの学校再開となっている。

変更した行事日程などについて、保護者の理解を得る取り組みは、児童生徒や教職員、その家族が発熱や感染が明らかになった場合の対応策は、  
・ 学校施設の掃除、消毒作業が教職員の負担とならないよう支援員

の配置を。

**答** 今年度は新型コロナウィルス感染症の拡大によって、5月31日まで臨時休校措置をとった。

修学旅行、運動会などの行事は、各学校とも延期する。保護者の理解を得たうえで、3密を避け、時間や規模を縮小して実施する。児童・生徒や教職



員には、毎朝検温し、健康観察票に記入して、学校に提出させている。もし発熱や咳などの症状がある場合は、自宅で休養してもらおう。  
児童生徒や教職員、その家族に感染が明らかになった場合、文科省からの衛生管理マニュアルによって対応する。  
今後、教職員の負担を軽減できるような支援策、国も人的配置等も考えているが、すべての学校に適用されるか不明だ。支援ができれば検討する。

# 1 第2次地方創生臨時交付金の使途は

喜ばれる有効な活用をしていく



原 孝文議員

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、1次補正分として5月初旬に国ベースで1兆円が交付され、本町では8606万1千円、コロナ禍で広がる店舗休業や、外出自粛に対する支援、第2、3波に備

えての感染防止策、収束後の対策等に活用している。  
これらの住民への周知と徹底、早期実施を望むとともに、町民の評価を聞く。また、残りの配分はどう活用するのか。

今後、第2次補正分として国ベースで2兆円が交付されるとのこと、実施計画を検討・作成中であるが、どのような支援、活用

を考えているのか。  
**答** 2月時点で商工会等への調査を実施し、プレミアム商品券の拡大や持続化給付金の上乘せを決定し、実施した。商品券は約4割が使用され、持続化支援金給付も40件を越え、「助かった。」との声をいただいている。

さらに、水道料金等の免除や学校や診療所、福祉施設への感染防止資材の購入、スクールバス増便へも使用した。残り分は学校のオンライン化費用に充てる予定だ。

第2次補正2兆円の配分の詳細は、まだ未定であるが、1次補正同様、有効な活用を模索していく。



# 2 町の人口ビジョンの見直しとイメージ宣伝の強化を

甘い課題でなく、改善に努めたい

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定から5年が経過し、今回人口ビジョンを見直し、40年後の町人口を7000人程度の維持を想定し直したが、見直しはそう甘くはない。

各施策の推進について考えると、人口減を食い止める最大の策である移住受け入れ、若者定着について、町内外への町のイメージ宣伝のあり方を見直し、特徴あるものにする必要があるのではないか。

自分達の住む町のすごさを町民自ら認識してもらうこと。町の特徴が一目見て

わかるような町外者への宣伝をすること。さらに「防災の町」のアピールなど、改革と改善を提案する。

**答** 当初予想より人口が下回っている状況のなかで見直しをした

が、甘くはない。

長期的戦略として、出生率の向上が必須であり、結婚・出産・子育て等により細やかな対策を講じていきたい。移住と若者定着についても、新築住宅への支援や町有地の活用をさらに進めたい。

もっと実施している施策に自信をもって、住民の意識改革や外向きへのPRに努めたい。

# 3 防災センターの広域消防OB職員の仕事は

専門的知識を生かしてもらいたい

**問** 防災センターは、本町の防災の要、住民の安心感の要となる施設であり、県下的にも類を見ない施設である。

4月より再任用で雇用した元広域消防職員2名の仕事内容について、どう位置付けているのか。センターの運営のみ

ならず、研修や地域の防災訓練、備蓄品の充実に技術と経験、知恵を十二分に生かしてもらえよう、随時本庁と協議を図りながら、推進していくことを望む。「町防災計画」の見直しにも参画してもらってはどうか。



日高川町防災センター(正面玄関付近)

**答** 建物が完成し、次の課題として町民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを期待してのものだ。地域へ積極的に出向き、自主防災組織と連携して研修や訓練などにあたってもらうとともに、町の消防団事務も任せている。防災資機材の整備に

関しても、専門的知識と新しい視点から提案してもらい、積極的に取り入れていきたい。「町防災計画」の充実にも知恵を借りていきたい。特殊な分野の仕事であり、消防OBの雇用を続けていきたいと考えている。



龍田安廣議員

# 1 土砂災害について、今年度の工事状況と今後の見通しは

毎年、今年と同様のペースで工事を進める

**問** 町内の土砂災害警戒区域において、県の土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の指定状況と工事の進捗率を問う。

**答** 町内の土砂災害警戒区域に指定されている箇所は、急傾斜地箇所、土石流箇所、地滑り箇所合わせて918カ所、そのうち特別警戒区域指定箇所は839カ所である。進捗率については、

完成済み砂防堰堤と、砂防事業を合わせて49カ所であり、土石流特別警戒区域の数が229カ所あるので、単純に進捗率を計算すると約21パーセントである。急傾斜地崩壊対策事業については、完成と現在着手している事業合わせて119カ所であり、指定地域が610カ所あるので進捗率は約20パーセントである。今年度は急傾斜対策

工事8カ所、砂防工事14カ所、小規模土砂災害対策工事4カ所を予定しており、毎年同様のペースで県に要望し、事業を進めていく。



急傾斜対策工事

# 1 ゴンパチ栽培に町の支援を

支援を検討したい



堀 辰雄議員

**問** 日高川町の特産とも言える、生研グループ(美山)が開発した「ごんちゃん漬け」。耕作放棄地の解消・有効利用、住民の副収入、景観保存、有害鳥

獣の対策等メリットは多い。町はもっと支援すべきではないか。  
**答** ゴンパチに関する現在の支援策としては、国の水田活用直接支払い交付金事業、ニホンジカの食害を防ぐための侵入防護柵に町単独の補助、農地保全のための機械購入補助等がある。



町としては、生産者 援が必要か協議いたただ  
の皆様でどのような支 き、検討したい。



ゴンパチ (イタドリ)

# 1 新型コロナウイルス感染症への避難所対策は

国・県の通知を参考に、安心・安全な避難所運営に努める



小畑 貞夫 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症対策を実施している最中ではあるが、これからは台風な

どの災害発生が心配される。特に避難所においては、同時にウィルス対策も必要となる。避難してくるのは、災害弱者の高齢者の方が多い。よって、その対策は重要となってくる。町の拠点避難所にお

る感染症への対策はどうなっているのか。

また、町民にも周知徹底するべきと考えるが、知らせる内容はどのようなになっているのか。

**答** 町の拠点避難所9カ所は、国・県の通知を参考に感染症対策を行う。

① 親戚や友人宅への避難を推進する。  
② 避難者への検温・問診を実施する。

③ 避難所の衛生環境を確保する。  
④ 換気や間仕切りなどで3密を避ける。

また、次亜塩素酸水の噴霧も併せて行う。以上の対応を行うが、できるだけ人を分散させるために地元避難所の開設を推進する。

町民への事前周知としては、防災無線放送・広報誌・ZTVなどを通じて行う。今後

も安全・安心な避難所運営に努める。

# 2 弥谷・熊野川・平岩地区の歩道設置について

予算が縮小されているが、交通安全確保のため県に強く要望する

**問** 国道424号には、未だに歩道がない箇所が2カ所ある。弥谷地区の歩道設置は事業採択されたが、昨年度は実施されなかった。今後の計画はどうなっているのか。

また、熊野川地区にも同様の区間がある。今後の設置計画について、県当局への強い働きかけをするべきと考えるが如何か。

次に、県道御坊美山線の平岩地内の歩道設置についても施工が停滞している。

同様に、県土木道路管理課へ要望強化をするべきと考えるが、町の対応はどうか。

**答** この歩道設置事業は、県単独予算で、

年々予算が縮小されている。

① 国道424号(弥谷地内)は、計画延長200mで、平成28年度着手、現在100m施工済み。構造が張り出し式になり、事業費がかさみ、昨年度は予算が付かなかった。

② 県道御坊美山線(平岩地内)は、計画延長160mで、合併以前から要望しているが、利用歩行者の激減により採択となっていない。しかし、住民の交通安全確保のため県に予算増額を強く要望する。

③ 国道424号(熊野川地内)は、計画延長160mで、合併以前から要望しているが、利用歩行者の激減により採択となっていない。しかし、住民の交通安全確保のため県に予算増額を強く要望する。



国道への歩道設置工事

# 入口副議長に

## 自治功労者表彰

和歌山県町村議会  
議長会定期総会にお  
いて、入口副議長  
が自治功労者表彰を  
受賞されました。

この表彰は、議会  
議員として11年以上  
在職し、議会活動を  
通じ、地方自治に大  
きな役割を果たした  
ことに対するもので  
す。



定例議会冒頭、山  
本啓司議長より、表  
彰状の伝達が行われ  
ました。

### 陳情・請願等

#### の審査

#### 総務文教常任委員会

「公立学校教員に1  
年単位の變形労働時間  
制を適用しないことを  
求める意見書の提出を  
求める請願書」は、総  
務文教常任委員会へ付  
託されましたが、慎重  
審査を要するため、継  
続審査となりました。

#### 産健康生常任委員会

付託されていた「加  
齢性難聴者の補聴器購  
入に対する公的補助制  
度創設を求める請願  
書」については、引き  
続き継続審査となりま  
した。



今年も早いもので、半  
年を過ぎましたが、新型  
コロナ感染症拡大の収束  
には、まだまだ予断を許  
さない状況が続いています。  
対策としては、マスク  
の着用、石けんによる手  
洗い実施や不要不急の外  
出の自粛等が重要とされ  
ています。

しかしながら、私たち  
には生活があり、経済活  
動も完全に止めてしまっ  
わけにはいきません。そ  
の時々状況により、個  
人の生活に合った「新し  
い生活様式」を実践して  
いくということがしょうか  
これからしばらくは暑  
い日が続きます。くれぐ  
れもご愛ください。  
広報委員が変わりまし  
た。これからの2年間で、  
よろしく願います。

- |          |            |
|----------|------------|
| 委員 入口 誠  | 副委員長 山本 啓平 |
| 委員 山本 喜平 | 委員 山本 啓平   |
| 委員 堀田 辰雄 | 委員 堀田 辰雄   |
| 委員 堀江 才二 | 委員 堀江 才二   |

咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後!



公共の場所から  
帰った時

手洗いの、  
5つのタイミング



病気の人  
のケアをした時

外にあったものに  
触った時

